

# めるへん

社協発



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816  
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)



## 「気がつけば、防災」



家の中で、利用できるものは？



災害用品ヒートパック体験



市販の災害用食品の紹介



市販のお菓子で作った  
ポテトサラダ



防災食づくり説明



乾麺そうめんを使った  
団子づくり

6月8日 玖珠町ボランティア連絡会総会並びに講演会が、メルサンホールで開催されました。

総会は各団体の代表と個人ボランティア合わせて36名が出席し、令和4年度事業・決算報告、令和5年度事業計画案・予算案を承認しました。

その後、中津市のレスキューサポート九州代表轟美智代氏と渡邊眞優美氏による「気がつけば、防災」と題した講演が行われました。

また出席者のグループワークで、今家に準備している防災用品等について話し合い、普段家庭にある物を使っての防災食づくりや、災害用として販売している非常食の試食をしました。

「日頃から災害を意識した生活に心がけることが大切」と講演を締めくくりました。

皆さん、短い時間で沢山の教えをいただきました。

# 退任にあたって



社会福祉法人  
玖珠町社会福祉協議会  
前会長 小田原利美

私事、2期4年間にわたり、玖珠町社会福祉協議会の会長職を務めてさせていただきましたが、この6月をもって退任いたしました。

在任中、多くの皆様方に、ご支援・ご協力とご指導を賜りましたことに心より感謝・御礼を申し上げます。顧みますと、任期中は「新型コロナウィルス」の猛威に翻弄された4年間でした。福祉の知識と経験の浅い私にとっては、会長職はいささか荷が重たく感じながらも、就任直後から地区別懇談会に出席し、地域の現状・課題、そして解決策等を共に語り合いました。参加した皆さんの熱い思いをスローガンにした瞬間、これこそが「地域福祉推進の原点」と、感動したことを今でも忘れません。

おかげさまで、多世代交流の場「地域食堂」が誕生し、「くらしのサポートセンター(有償サービス)」も活動が始まりました。

さらに「週一体操教室」や「支えあいマップ」の取り組みが広がるほか、令和2年7月豪雨災害では、被災者に寄り添う支援ができたことは、改めて関係者に敬意を表するものです。

しかしながら、あらゆる世代で暮らしに困り事が増え、近年多発する自然災害への備えにも、まだまだ課題が残されています。

今後とも、玖珠町社会福祉協議会の各種事業にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々の住みよい地域づくりが展開されますことを念願して、退任のご挨拶といたします。

## — 令和4年度事業報告 —

### ◆ふれあい きいきサロン・週1体操教室推進事業

地区	月1サロン	月2サロン	週1サロン	週1体操	毎日常操
森地区	11	1	2	8	1
玖珠地区	12	2	1	18	1
北山田地区	3	1	1	11	0
八幡地区	10	0	1	9	0
合計	36	4	5	46	2



### ◆小地域マップづくり事業

地区	森地区	玖珠地区	北山田地区	八幡地区	合計
作成済	46	41	38	38	163
うち見直し	1	1	0	0	2
新規作成	5	19	0	1	25
合計	51	60	38	39	188



- ◆地域福祉活動計画…策定委員会3回・懇談会4地区延べ12回・地域づくり講演会
- ◆給食サービス事業…年間延べ利用者 1,809人
- ◆いきいき元気教室・男性ふれあい広場…延べ参加者800人
- ◆日常生活自立支援事業…330回支援 ◆生活困窮者自立支援事業…新規相談90件
- ◆権利擁護支援事業…相談5件
- ◆地域包括支援センター…ケアプラン作成・評価772件、相談…344件
- ◆認知症地域支援推進員事業…オレンジカフェ延べ813人、声かけ模擬訓練99人  
本人ミーティング92人、認知症サポーター養成講座147人参加
- ◆訪問介護事業…延べ3,966人利用 ◆通所介護事業…延べ5,892人利用
- ◆居宅介護事業…延べ528人 ◆障がい福祉サービス事業…延べ1,041人
- ◆老人福祉センター運営事業…延べ9,033人利用
- ◆生活福祉資金貸付事業…新規貸付46件・法外更生資金貸付事業…新規5件
- ◆ファミリーサポートセンター事業…延べ利用75件 ◆福祉機器貸し出し事業…延べ93回
- ◆無料法律相談…41件、障害年金相談…1件 ◆福祉教育…北山田小学校、森中央小学校
- ◆情報誌「めるへん」・包括だより…年6回 隔月発行

# 就任のご挨拶



社会福祉法人  
 玖珠町社会福祉協議会  
 会長 濱田 淳

この度の役員改選により、玖珠町社会福祉協議会会長になりました濱田淳です。私事、これまで教育関係に長く関わってまいりましたが、福祉経験は少なく不安もあります。精一杯務めますので、よろしくお願ひいたします。

さて、今日の変容する社会情勢、とりわけ、人口減少と少子高齢化により、人々の暮らしに様々な困りごとが増え、公的制度に加えて、地域の助け合い・支え合いがとても大事になっています。

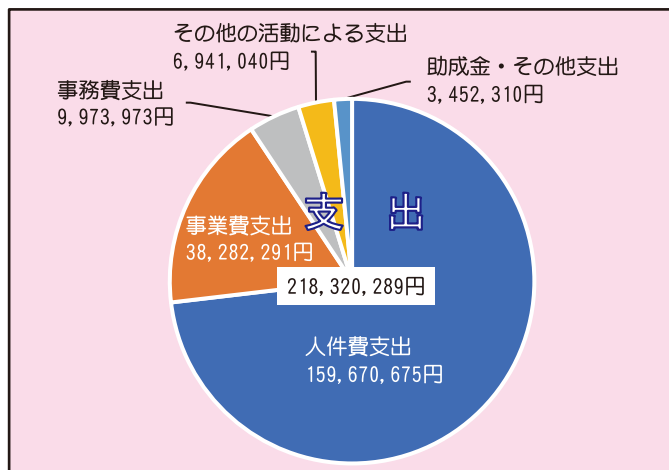
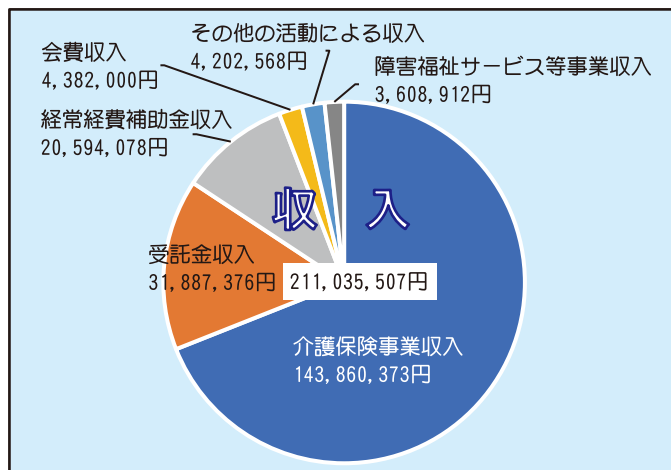
また、これらを推し進める玖珠町社会福祉協議会の重責を感じつつ、信頼される当会運営に全力を傾注してまいります所存であります。

今後とも、町民の皆様や関係各位には、前任の会長に増して、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げ、会長就任の挨拶とさせていただきます。

## 新役員紹介

会長	濱田 淳	理事	菊池 新一
副会長	穴本 芳雄	理事	麻生知恵子
理事	梶原 義行	理事	梅木 和子
理事	星野 博行	理事	白木 寛章
理事	河野 博文	理事	加来 直幸
		理事	瀧石 省司
		監事	
		監事	
		監事	

## — 令和4年度決算報告 —



## — 令和5年度事業計画 —

### スローガン

「みんなで支えあい、安心・安全の暮らしをつくる」

### 事業方針

地域福祉の充実を図り、支えあい・助け合いの輪を広げます

### 基本的な考え方

地域福祉の推進/地域包括ケアシステムにおける生活支援・介護予防の推進  
 総合相談・要援護者支援対策の充実/災害時要援護者の支援体制の整備  
 在宅生活支援サービス事業の充実



## 一緒に働きませんか？ 社協職員募集！

- 地域包括支援センター…社会福祉士
- 居宅介護……………介護支援専門員
- 訪問介護……………ホームヘルパー

応募資格・仕事内容等詳しくは  
**玖珠町社会福祉協議会 (72-5513)** へ  
 お問い合わせください。



# お待たせしました、玖珠地区もスタート！



玖珠地区くらしのサポートセンター  
イメージキャラクター  
『くらサポ☆くーすけ』よろしくね！

6月16日玖珠自治会館で、関係者65名が出席して、「玖珠地区くらしのサポートセンター」の設立総会が開催されました。

経過報告後、設置規約・役員体制・事業計画並びに予算が、承認されました。

会長に小田の武石賢一さん、事務局長兼マネージャーに山浦の山田聖八さんが就任しました。

令和元年度より地域の特色や課題について協議を重ね、玖珠地区でも日常生活の様々な場面で支援が必要な方が多くいることが分かりました。そこで困り事を抱えている方々を有償でサポートする組織を立ち上げようと、令和4年5月から準備会で、17回にわたり協議を重ね、活動会員54名でスタートします。

詳しい内容や問い合わせ、申し込みは

**くらサポ事務局**（玖珠自治館内）  
電話 77-2711

**受付時間** 午前9時～  
午後5時

（土日、祝日は除く）

## 健闘！玖珠町代表選手団

第18回大分県障がい者スポーツ大会が5月20日、大分スポーツ公園レゾナックドームを中心に開催されました。玖珠町から18名の選手が出場しました。

開会式では陸上競技に出場する岳尾元勝選手が旗手を務め、それぞれの競技で、熱戦が繰り広げられました。

陸上競技では、2選手が100m走、砲丸投げ、ジャベリックスローでそれぞれ金を獲得、また、フライングディスク会場では、あいにくの強風で練習の成果が出せず、苦戦を強いられましたが、金2個、銀1個、銅2個を獲得しました。

選手の皆さん、お疲れ様でした。



# 介護保険のお話 38



## 《新シリーズ No.2》 ひ ほけんしゃ 被保険者って何？

日本国内に住んでいる人は、40歳になると自動的に介護保険に加入することになっています。「被保険者」とは、介護保険に加入している人を差しています。被保険者は年齢によって2つに分けられています。

65歳以上の方	第1号被保険者
40歳～64歳までの方	第2号被保険者

※39歳以下の方は被保険者にはなれません。



ちなみに、「保険者」とはなんでしょう。介護保険制度の運営主体である保険者は、各市町村（玖珠町）です。今回は**誰が利用できるの？**のお話です。

### ”しゅーいち”元気アップ広場



今回ご紹介する「しゅーいち」は、「金粟院週一体操教室」の皆さんです。

コロナ禍で立ち上げに苦労しましたが、活動からようやく1年、今では、覚えた体操を自宅で行う習慣が定着しています。

教室は、毎週火曜日13時30分から、ストレッチやタオル運動の後、めじろん体操と「ビック4」にしっかりと取り組んでいます。

また、ひと汗流した後は、みんなで和気あいあいの楽しいひと時を過ごしています。

金粟院公民館に来られる方であれば、どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

自分の健康と地域の元気をめざして「しゅーいち」を始めてみませんか。



玖珠町社協では、健康寿命延伸のため地域ごとに定期的に集まり体操を行うことを推奨しています。開催を検討している地区があれば、事前の説明会にお伺いする事もできますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

### ”しゅーいち”についてのお問合せ



玖珠町社会福祉協議会 ☎(72) 5513  
玖珠町地域包括支援センター ☎(72) 7154

### 今回のキラッと☆



今回ご紹介する方は、長年に渡り地域コミュニティでボランティア活動をされている、八幡地区の帆足恵美子さん（70歳）です。

20年前から子ども居場所づくりに関わり、週1回のわくわく広場では、活動支援だけではなく、地域の方や美山高校・関係機関との連絡・調整を行っています。食生活改善推進協議会会員のスキルを活かして、月1回は食育でおやつ作りも行っているそうです。また、学校支援コミュニティスクールでは、学校と関係機関のコーディネートを担当しており、その他にも月1回のジュニアクッキングや男性料理教室のレシピ作りから調理の支援もされています。

65歳で大病をしましたが、現在は元気に無理をしない程度に活動を続けています。

「色々な活動に関わることで、たくさんの人と知り合いになれたことは宝物。忙しくて、皆さんに迷惑をかけていないか心配です」と、笑顔で話してくださいました。

これからも益々のご活躍をお祈り申し上げます。



# 民生委員さんのボランティア活動

民生委員は見守り活動などの役割以外に、ボランティア活動も行っています。

昭和63年から始まった独居高齢者・老々世帯や障がい者の方、その他民生委員が必要と思う方に夕食のお弁当をボランティアの皆さんが作って配食する給食サービスで、長きに渡り配食を担ってくれています。これまで老人クラブや個人ボランティアの方々もいましたが、現在は民生委員の皆さんだけになりました。様子伺いを兼ねて配食して頂いているので、弁当を頼んだ方々は、来てくれることを楽しみに待っているようです。

玖珠町童話祭では、20年以上前から手作りコーナーを開いており、竹切りや数珠玉収穫から始めて、竹とんぼやお手玉を子ども達と一緒に作っています。コロナ禍で休止していましたが、今年は久々ににぎわいが戻っていました。



## 月2回のお弁当を頼んでみませんか

これまで月3回配食していたお弁当が、月2回に変わりました。

利用できる方は、独居高齢者・老々世帯の方々等

**配食日**：毎月第2水曜日・第4水曜日

**配食時間**：午後4時前後

**弁当代**：500円（集金は第4水曜日にまとめて集金）

**弁当箱**：使い捨て容器

お弁当の内容はこれまでと変わらず、管理栄養士の方がレシピを作成、各地区の給食ボランティアの皆さんが美味しく調理しています。

申し込まれる方は、玖珠町社会福祉協議会までご連絡下さい。

**電話番号**：72-5513



## 給食サービスボランティア 募集中!



第2水曜日か第4水曜日のうち毎月1回、午後1時から2～3時間程度、お弁当作りを手伝っていただける方を募集しています。

活動場所は4地区自治会館とメルサンホールから選ばれます。

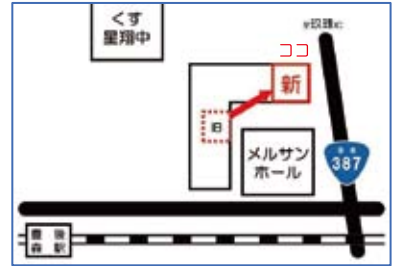
(令和5年4月1日  
～令和5年5月31日)

香典返し

三友成病院透析室患者一同様	物品寄付	匿名会 1名様	匿名 2名様	滋賀県湖南市 後藤 優 様	愛知県知多市 秋好 敬隆 様	福岡県春日市 星本 己植 様	上田 三好 端 様	久恵西 藤野 竜司 様	三島 安田 直哉 様	中山 藤原 康隆 様	三本 瀧石 京子 様	広瀬 中尾 由子 様	山田早水 後藤 厚 様	萩ヶ原 小田 和彦 様	中央町 青野 浩志 様	四日市 大久保 健一 様	杉山 長尾 和己 様	元組上 飛永 縁 様
---------------	------	---------	--------	---------------	----------------	----------------	-----------	-------------	------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	--------------	------------	------------

## 総合相談事業 事務所移転のお知らせ

生活困窮、日常生活自立支援事業（あんサポ）、生活福祉資金、玖珠町権利擁護支援センター、フードバンクについて相談受付を行っております総合相談事業の事務所が 令和5年5月より移動しました。



**電話 72-5001**  
 相談受付時間 (要予約)  
 午前9時～午後5時  
 月～金曜 (祝日・年末年始を除く)  
 \* 上記以外の時間も応相談

## デイサービスだより

今回はデイサービスの一日をご紹介します。

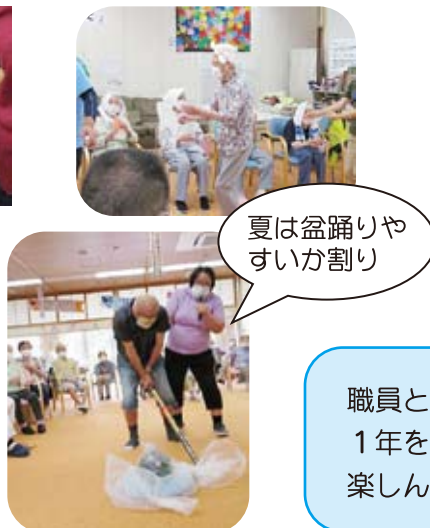
### 温泉で入浴



3時には手作りおやつも出ます



お花を生けたり壁飾りを作ったり、時にはおやつ作りにも挑戦します。



夏は盆踊りやすいか割り



職員のあいさつから午後の活動スタートです。

職員とご利用者様のみなさんで、1年を通して季節を感じられる活動を楽しんでいます。



# 7月・8月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
6 / 25	26 ■老人福祉センター 休館日	27 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	28 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	29 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	30 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	7 / 1
2	3 ■老人福祉センター 休館日	4 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	5 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	6 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	7 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	8
9	10 ■老人福祉センター 休館日	11 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	12 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	13 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	14 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	15
16	17 (海の日)	18 ■老人福祉センター 休館日 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	19 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	20 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	21 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	22
23	24 ■老人福祉センター 休館日	25 ■無料障害者年金 相談 (要予約) ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	26 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	27 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	28 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	29
30	31 ■老人福祉センター 休館日	8 / 1 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	2 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	3 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	4 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	5
6	7 ■老人福祉センター 休館日	8 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	9 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	10 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	11 (山の日) ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線)	12
13	14 ■老人福祉センター 休館日	15 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	16 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■無料法律相談 (要予約) (老人福祉センター)	17 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	18 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	19
20	21 ■老人福祉センター 休館日	22 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	23 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	24 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	25 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	26
27	28 ■老人福祉センター 休館日	29 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	30 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線)	31 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	9 / 1 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線)	2

編集発行所／玖珠町社会福祉協議会

令和5年7月号 (隔月1回1日発行) No. 151

## 編集後記



役員の任期満了に伴い、今回退任された小田原前会長はフットワークが軽く、作業服を着て自ら被災した地域に出向き、泥だしや片付けを行い、物品寄付のご連絡に、自家用軽トラで取りに行き、中庭の畑では利用者さんに喜んでいただこうとイチゴや西瓜を植え、収穫まで丁寧に管理されていた。考えや経験・体験を積極的に職員に伝え、研修会や懇談会に足を運んで、地域の皆さんの声を直接聴き、地域での社協の役割を常に考えられていた。

□□ナ禍で活動が制限される中、4年間社協の顔として先頭に立っての活動に心から感謝いたします。(H)

